

# 2023年12月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社エプコ 証券コード: 2311 2023年5月11日 (木)

CHALLENGE TO EVOLUTION

建築DX × 脱炭素

**私たちは、住まい・暮らし・地球環境をDX技術で支えます。**

PURPOSE

# HCDs

HOUSING

CARBON NEUTRALITY

DIGITAL SOLUTIONS

# 01. 2023年12月期 第1四半期決算概況

## 02. 中期経営方針

## 03. Appendix.

**HCDs** HOUSING  
CARBON NEUTRALITY  
DIGITAL SOLUTIONS

## 関係会社出資金（旧エプコ深圳）売却益の発生により、純利益は増益を確保

(単位：百万円)	FY22Q1 実績	FY23Q1 実績	増減	増減率
売上高	1,179	1,177	▲1	▲0.1%
経常利益	37	20	▲17	▲45.7%
純利益	33	55	+21	+64.1%
※純利益の増加要因 関係会社出資金売却益	—	62		

<h2>FY2023 Q1業績</h2>	<p>経常利益 20百万円 前期比 ▲45.7%</p>	<p>再エネサービスの減益が主たる要因も、Q2以降は回復見通し</p>	
<h2>再エネサービス</h2>	<p>経常利益 7百万円 前期比 ▲67.4%</p>	<p>TEPCOホームテックは業績好調で増益も、中国事業への投資等による一時的な減益、Q2以降は回復見通し</p>	
<h2>メンテナンスサービス</h2>	<p>経常利益 63百万円 前期比 +11.9%</p>	<p>エネルギー系企業からの受託拡大に伴う増益</p>	
<h2>設計サービス</h2>	<p>経常利益 45百万円 前期比 ▲5.4%</p>	<p>既存事業の設計売上減少による減益 一方で、旧エプコ深圳の合併会社化により、中国設計コストが減少し、利益回復基調</p>	

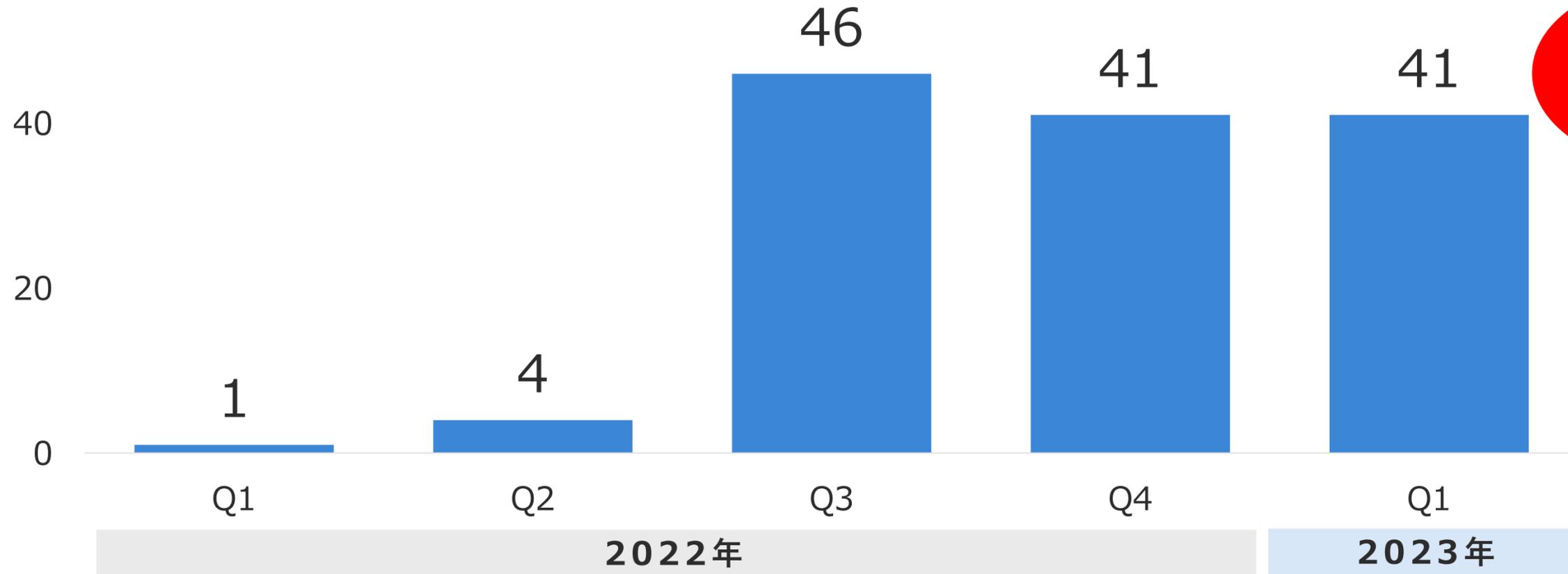
## TEPCOホームテック持分法投資損益（再エネサービス）は好調に推移

2023Q3より、新築・既築住宅向け共に再エネ設備工事売上が増加。

受注残高も堅調に推移しており、今後も安定的な業績を見込む。

TEPCOホームテック 持分法投資損益の推移

(百万円)

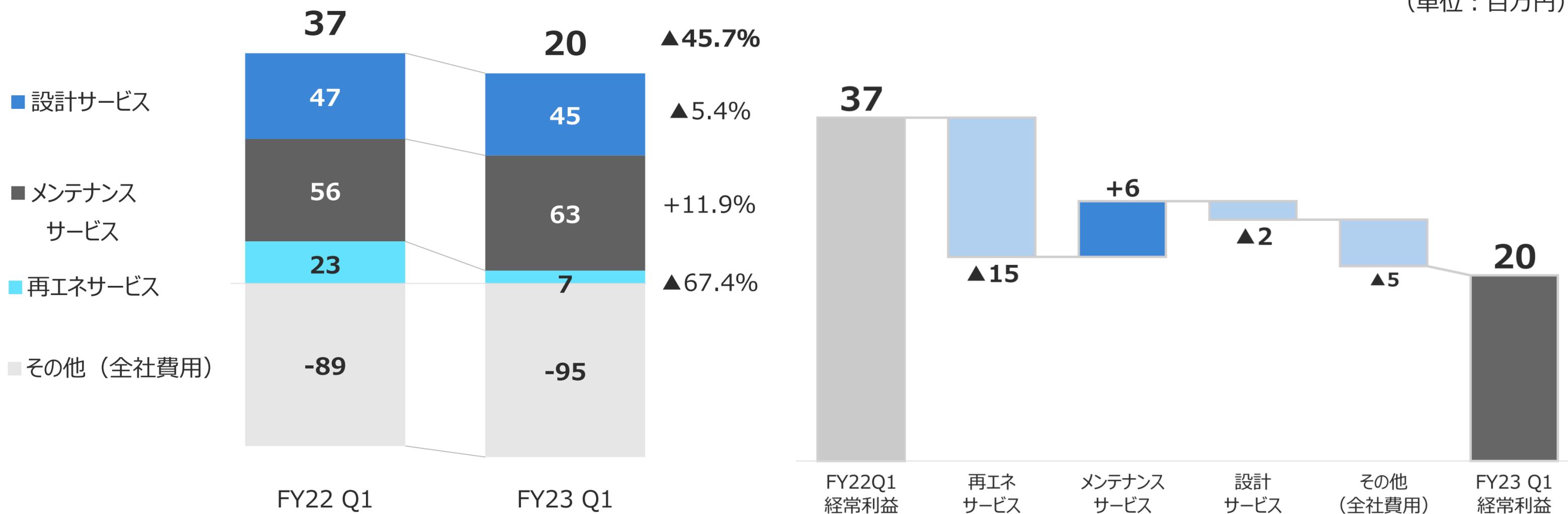


前年同期比  
+39百万円

## 主たる減益要因は、再エネサービス（中国事業）の先行投資により減益

### エフコグループ 連結経常利益

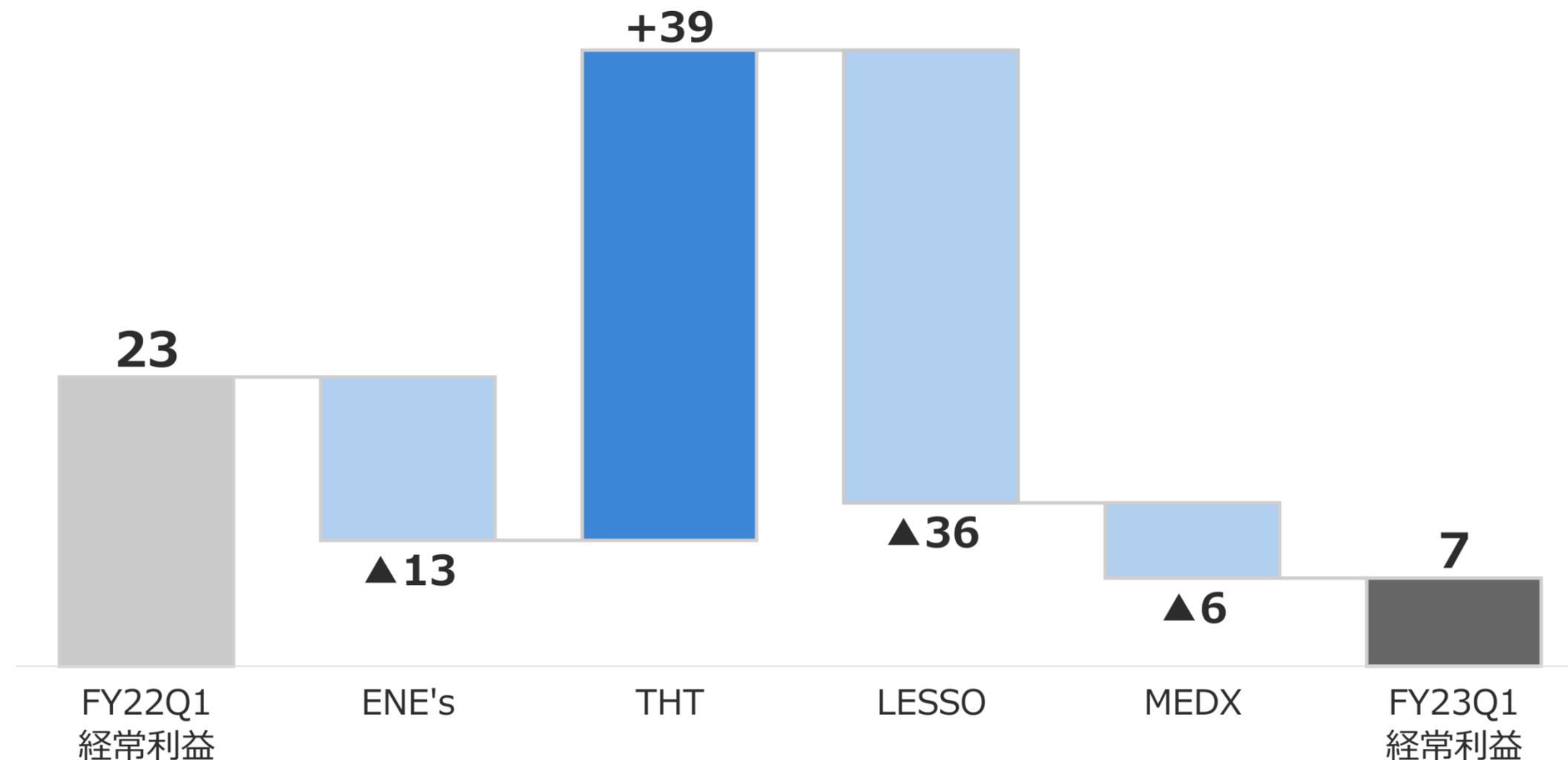
（単位：百万円）



## TEPCOホームテックは増益となるも、その他グループ会社が先行投資により減益

再エネサービス 経常利益 グループ会社別増減分析

(単位：百万円)



### 主な減益要因

#### ■ ENE's

- ・外注費等の上昇による粗利率の低下
- ・人員増員による販管費の増加

⇒ **受注価格の見直しを実施**  
**下期以降は、損益改善の見込み**

#### ■ LESSO

中国太陽光設計事業の受託を準備中  
 (設計スタッフ訓練、設計資格取得)

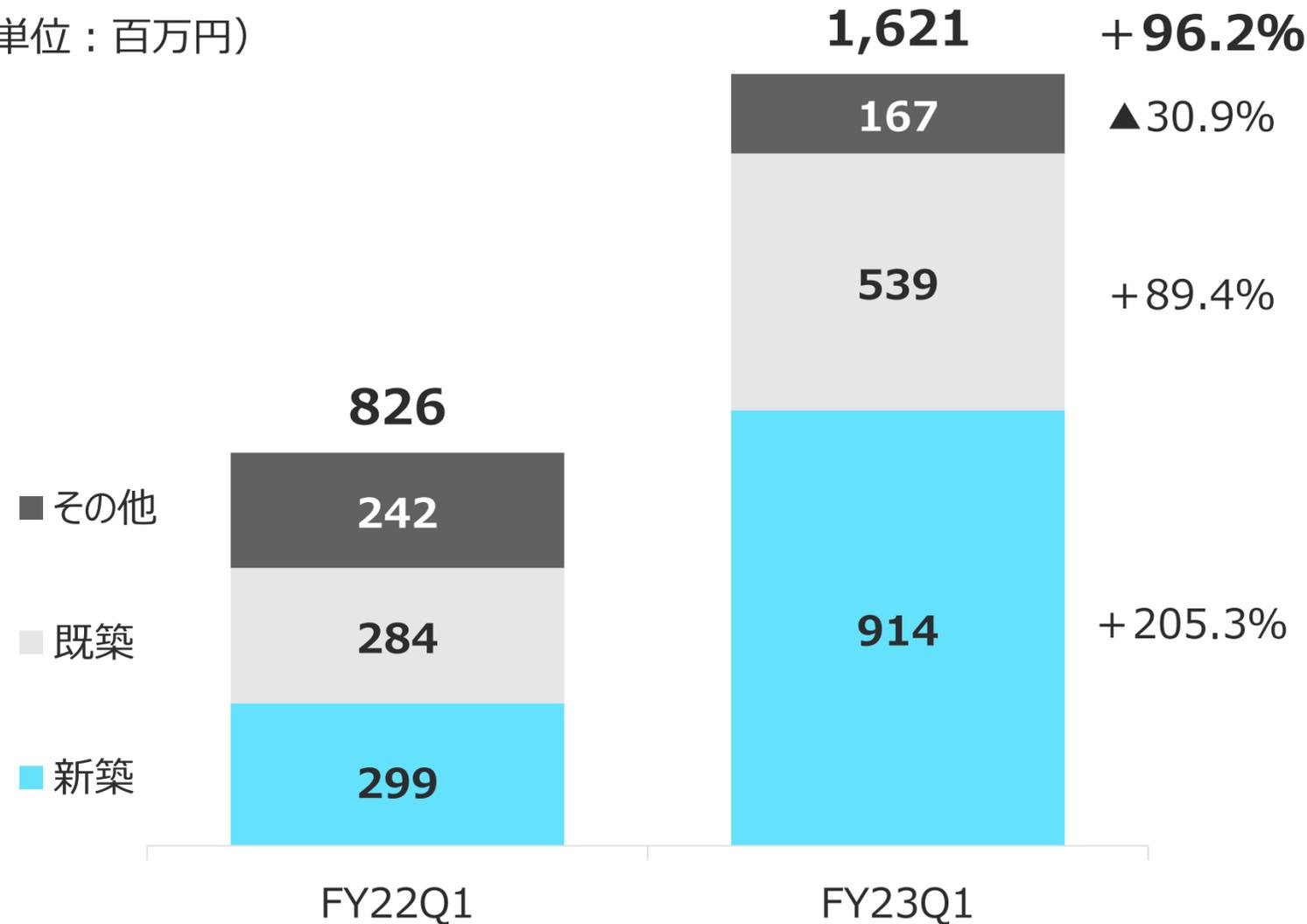


⇒ **今後は設計受託件数が増加**  
**Q2以降は、損益改善の見込み**

## THTの増益要因：新築及び既築住宅向けの両輪による売上・利益の大幅増加

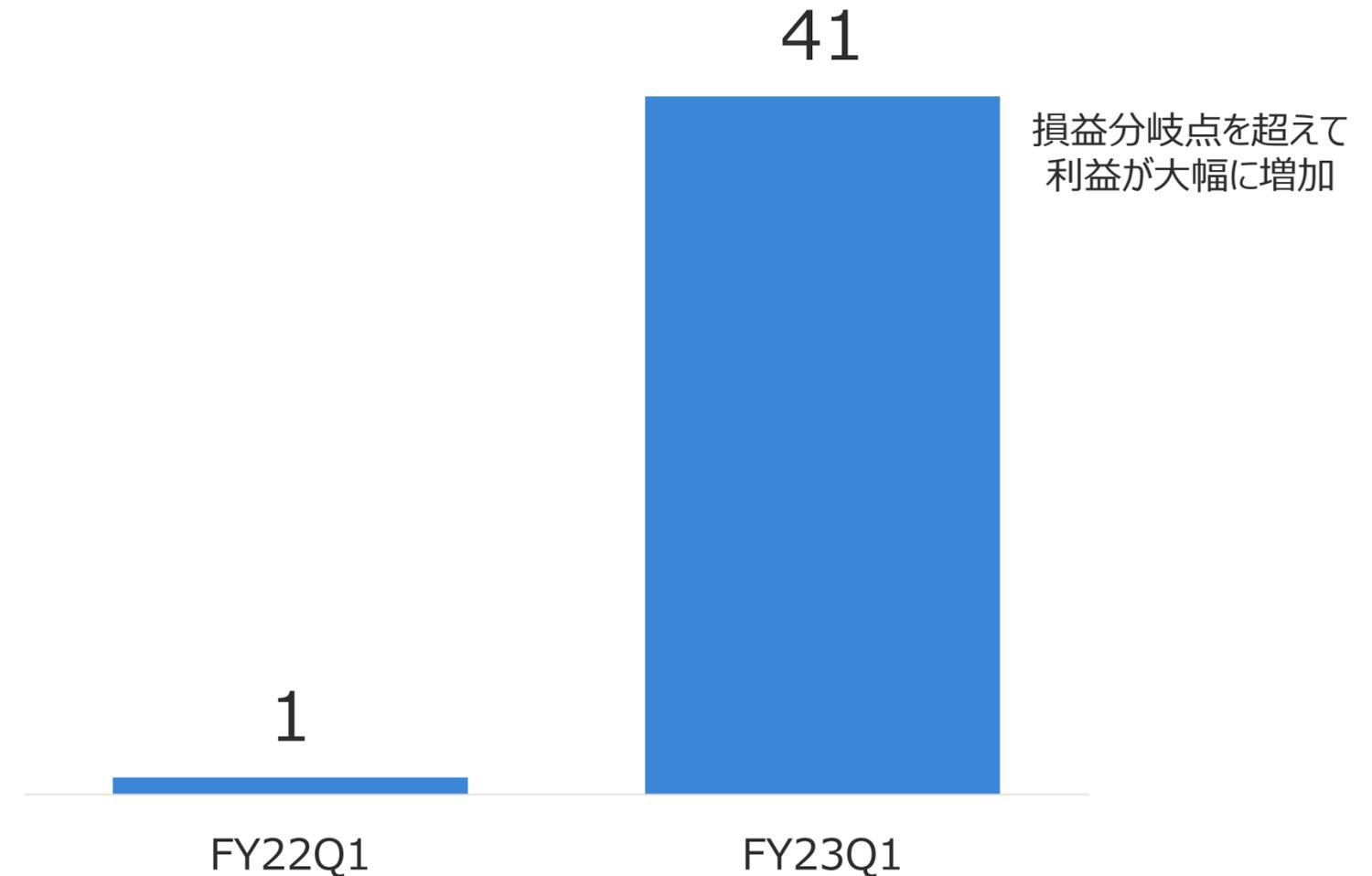
TEPCOホームテック 売上高  
(前年同四半期比)

(単位：百万円)



TEPCOホームテック 持分法投資損益  
(前年同四半期比)

(単位：百万円)



## 新築向け売上の増加要因：不動産・分譲住宅会社のエネカリ採用実績が着実に増加



東電EPとの「脱炭素プロジェクト」のひとつとして「すみふ×エネカリ」をスタート

すみふ × エネカリ



分譲戸建てシリーズで採用。  
横浜市と柏市の全75邸



「新築そっくりさん」で採用



「ZEH」に採用  
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)



2021.9

2021.10

2021.11

2022.1

2022.4

2023.3

2023.4



東京・神奈川の建売分譲全棟で採用



分譲戸建て住宅で採用



「美鳥ヶ丘ブライトガーデン」で採用



## 上半期に事業立上げ準備を終えて、下半期に設計受託を開始する見通し

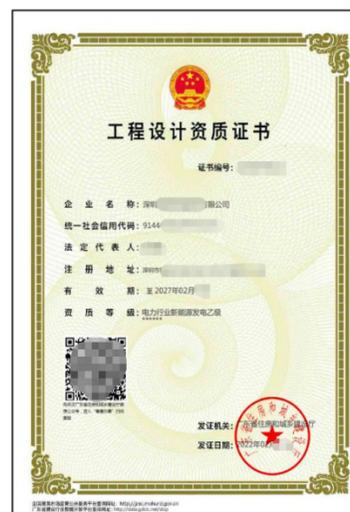
### 【活動状況】

- 中国設計スタッフ 業務研修 (LESSO社との業務確認)
- 再エネ設計業務を行うための中国設計資格 取得準備
- 実物件の設計トライアル開始
- 実物件の設計受託開始 (主に海外案件)
- 実物件の設計受託増加 (中国国内及び海外案件)

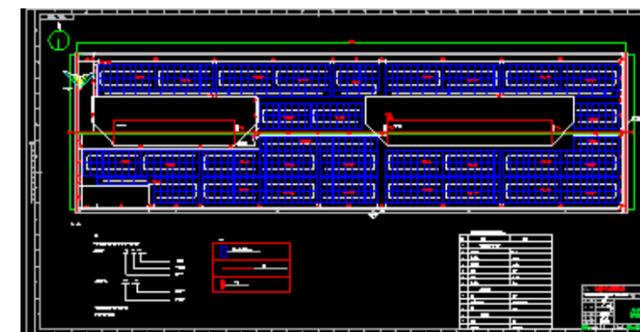
2023年	Q1 (1~3月)	Q2 (4~6月)	Q3 (7~9月)	Q4 (10~12月)
-------	--------------	--------------	--------------	----------------

中国 設計資格  
取得準備

中国設計スタッフ  
研修風景



太陽光発電設計イメージ  
(直流配線図)



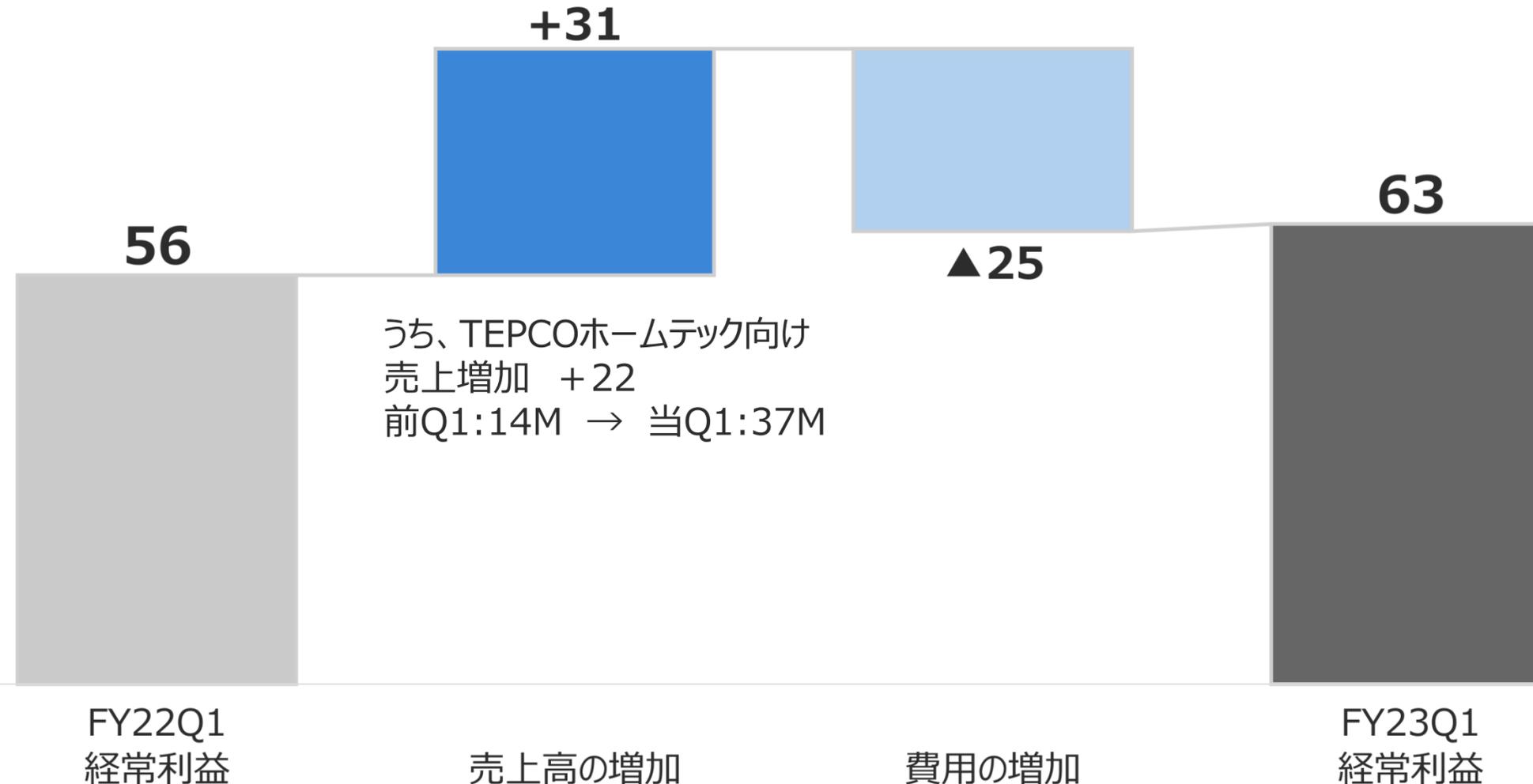
LESSO社  
太陽光発電プロジェクト



## TEPCOホームテック等よりエネルギー関連業務の受託が増加したことによる増益

### メンテナンスサービス 経常利益 増減分析

(単位：百万円)



### 増収増益要因

エネルギー関連業務受託が拡大  
(TEPCOホームテック 他)

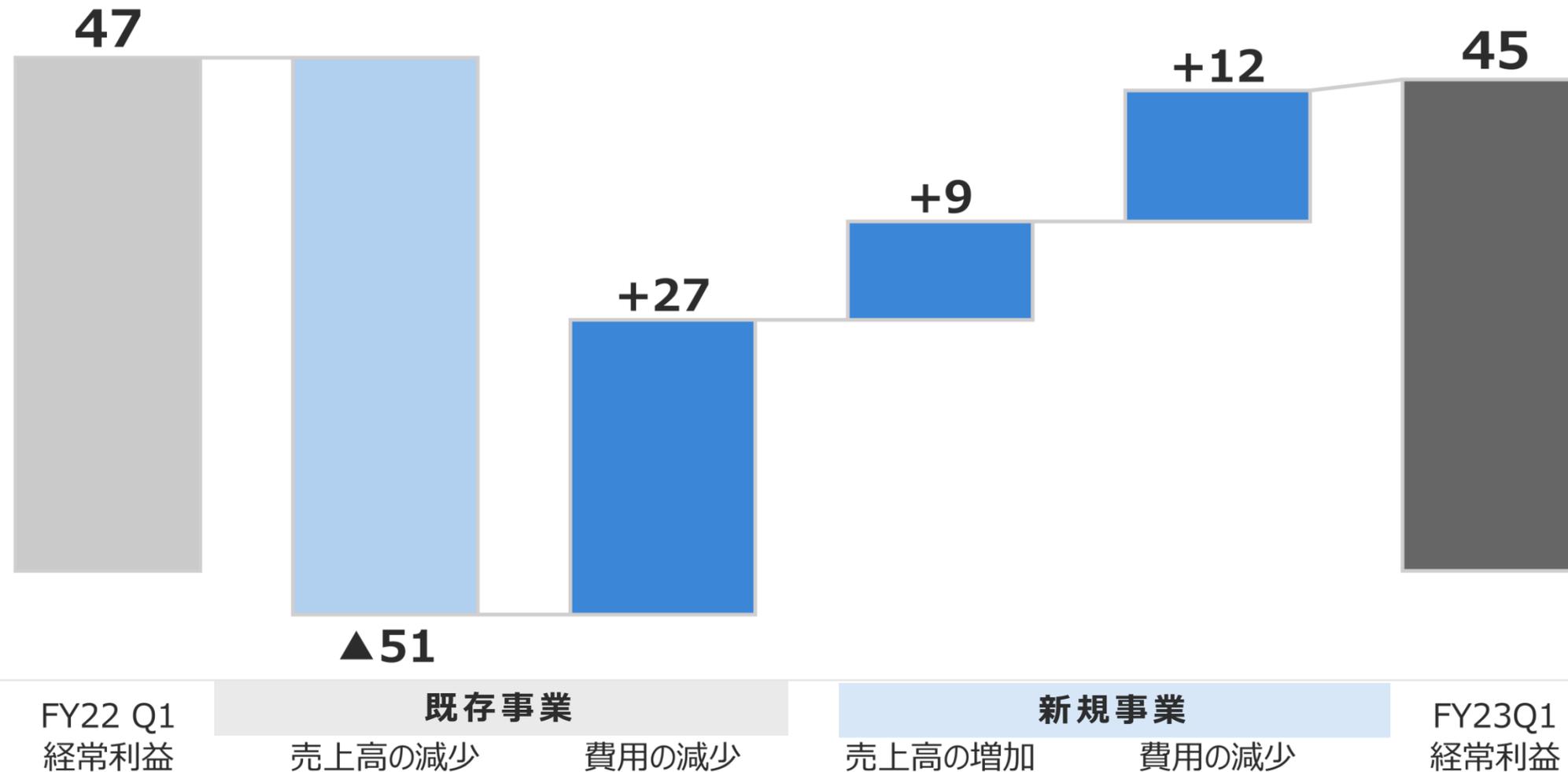
- 契約・申請事務
- 問い合わせ対応
- システム開発



## 既存事業の売上減少に対して、様々な対処策を講じたことで利益回復傾向

### 設計サービス 経常利益 増減分析

(単位：百万円)



### 主な減益要因と対策

#### ■ 既存事業の売上高減少要因

住宅着工(持家) 前年同期比▲8.9%減に伴う設計受託戸数の減少

#### ■ 利益回復策

- ① 設計単価改定効果が下半期より発現見込み
- ② 新規事業 (BIM業務) の拡大
- ③ 旧エプロ深センの合併会社化による既存/新規事業の設計費用減少

⇒ **Q2以降、さらなる利益改善の見込み**

(参考) 設計サービス事業の内訳

FY23Q1	既存事業	新規事業	合計
売上高	444	17	462
営業費用	382	35	417
経常利益	62	-17	45

(単位：百万円)

FY22Q1  
実績FY23Q1  
実績

増減

増減率

## 売上高 (連結)

1,179

1,177

▲1

▲0.1%

## 再エネサービス

244

252

+8

+3.5%

## メンテサービス

429

461

+31

+7.4%

## 設計サービス

504

462

▲42

▲8.3%

(単位：百万円)

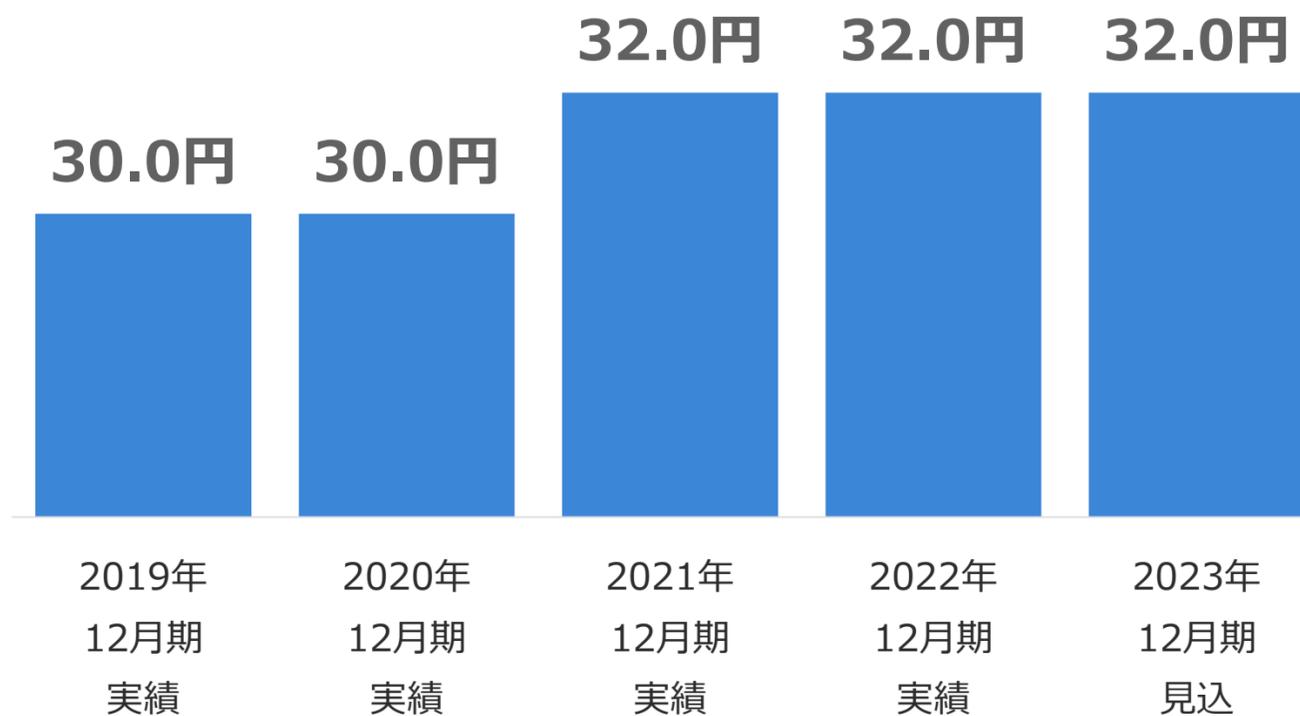
	FY22Q1 実績	FY23Q1 実績	増減	増減率
<b>経常利益（連結）</b>	<b>37</b>	<b>20</b>	<b>▲17</b>	<b>▲45.7%</b>
<b>再エネサービス</b>	<b>23</b>	<b>7</b>	<b>▲15</b>	<b>▲67.4%</b>
ENE's	14	1	▲13	▲90.0%
TEPCOホームテック	1	41	+39	+3081.9%
LESSO	8	-27	▲36	-
MEDX	-1	-7	▲6	-
<b>メンテサービス</b>	<b>56</b>	<b>63</b>	<b>+6</b>	<b>+11.9%</b>
<b>設計サービス</b>	<b>47</b>	<b>45</b>	<b>▲2</b>	<b>▲5.4%</b>
<b>その他（全社費用・営業外損益）</b>	<b>-89</b>	<b>-95</b>	<b>▲5</b>	<b>-</b>

配当方針：連結配当性向50%及び純資産配当率（DOE）8%を目安とした利益還元を**安定的**に実施

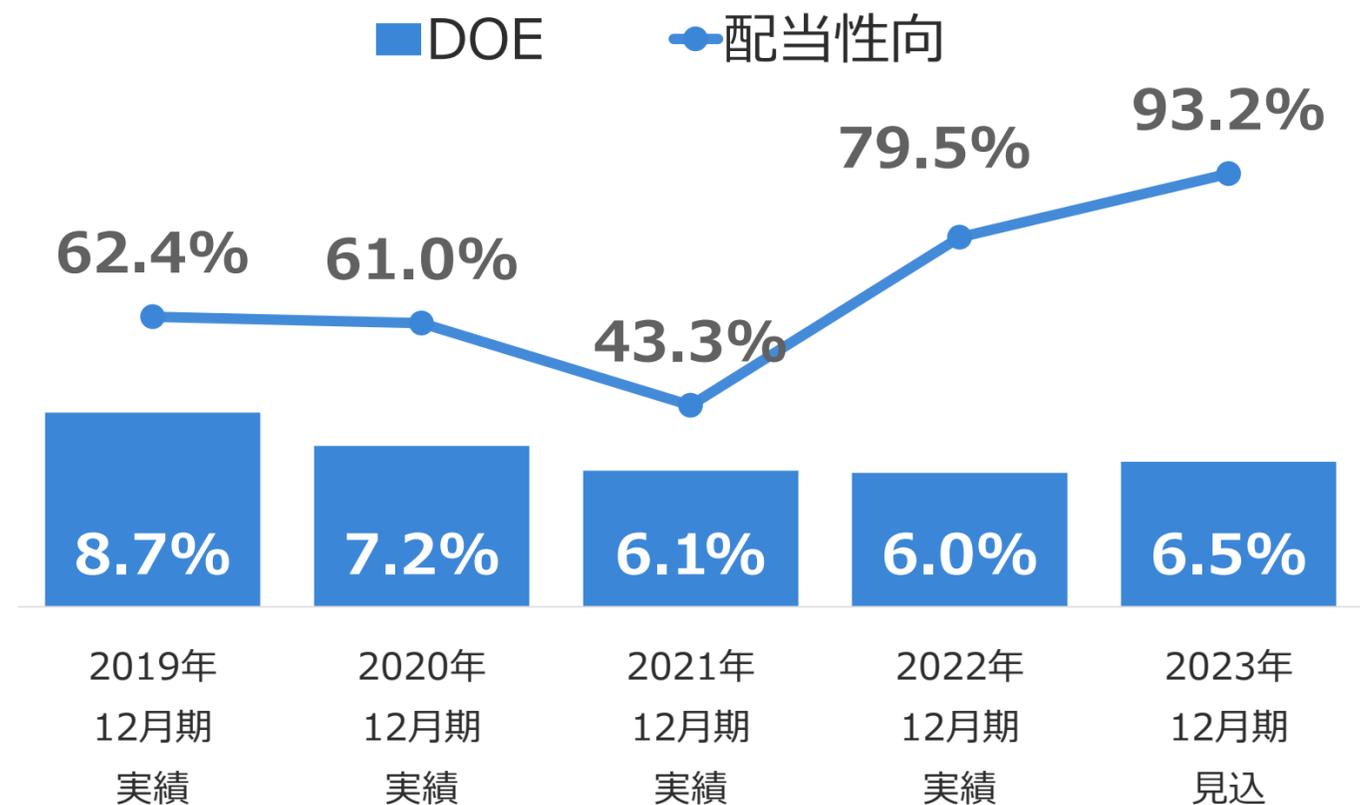
2023年12月期 1株当たり配当予想額 **32円**（第2四半期末：14円、期末：18円）

配当利回り **4.3%**（2023年4月28日付株価（740円/株）にて算定）

【配当金】



【配当性向、純資産配当率（DOE）】



### ご好評につき、2023年上半期の抽選は、当選者を3名から5名に拡大

#### 抽選式株主優待の内容

- 太陽光発電システム（100万円相当）を無償で設置する権利』を贈呈  
※蓄電池も選択可能
- 抽選で5名様に贈呈（2023年度上半期）

#### 抽選対象となる株主様

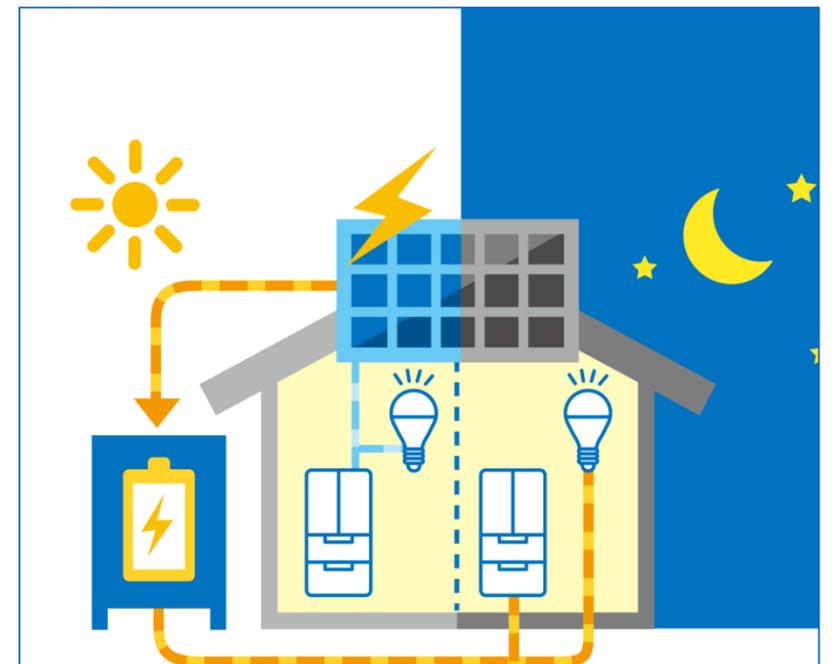
- ① 当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様  
2023年6月末日（上半期）の当社株主名簿に記載された株主様
- ② 当抽選に応募する手続を実施した株主様

#### 設置可能場所

- 当選者は設置場所を自由に指定することが可能
- 設置条件：日本国内の戸建て住宅（設置要件あり）

#### 抽選の概要

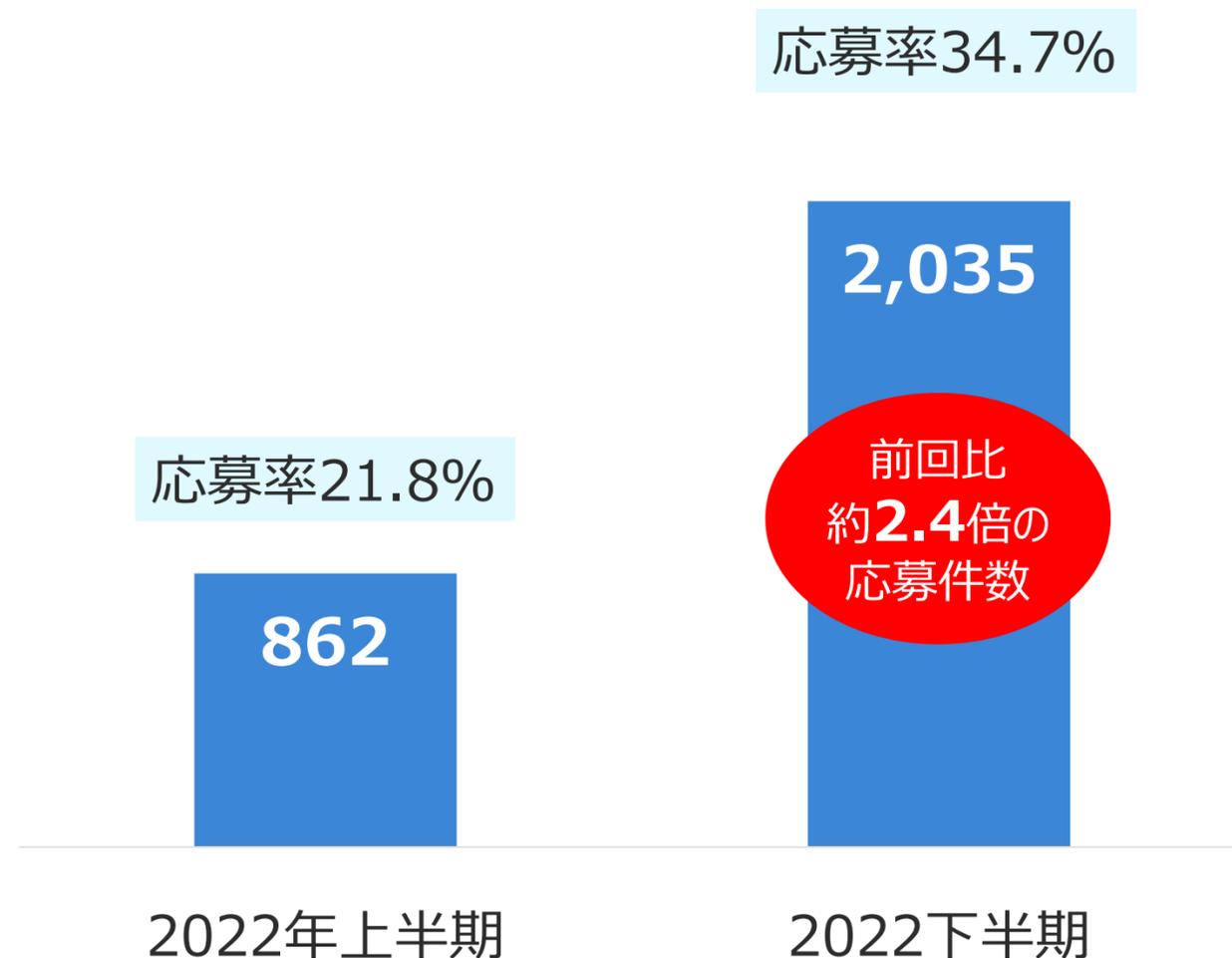
- 2023年度上半期の抽選日は2023年8月下旬を予定
- 抽選時の当選確率は保有株式数に応じて比例的に増加  
上限1,000株・最大10口



テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」で当社株主優待が取り上げられました。

2022年下半期の応募は上半期比で**約2.4倍（2,035件）** ご好評を頂いております。

【応募件数と応募率】



## 株主様からの声（抜粋）

ユニークな株主優待だと思います。個人投資家としては確率低くても、ささやかな夢を見させていただきながら応援したいと思います。

電気代が高くなりこれから自家発電の時代になると思います。

事業を元にした**面白い株主優待**を実践しているとのことで興味を持ち、思わず株式を購入してしまいました。

株主優待がおもしろくて株主になりました。  
もし当選することがあれば親族の家に設置してあげたいです。

東京都では新規住宅への**太陽光発電設置が義務化**されますので、御社のご活躍を期待しています。

01. 2023年12月期 第1四半期決算概況

**02. 中期経営方針**

03. Appendix.

**HCDs** HOUSING  
CARBON NEUTRALITY  
DIGITAL SOLUTIONS

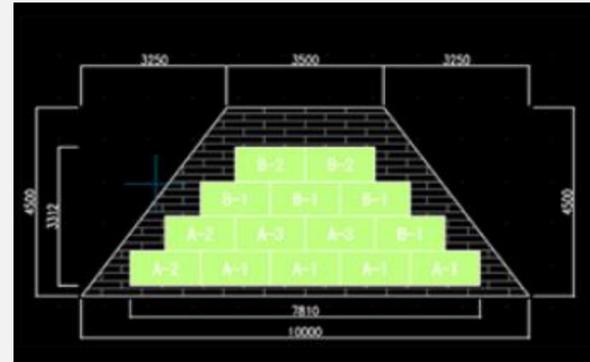
## エプコグループは、パートナー企業と共に「再エネサービス」の事業成長に注力

### 再エネサービス（太陽光・蓄電池・EV）

【製造】



【設計】



【施工】



【メンテナンス】



日本

(各社メーカー)



東京電力グループ  
TEPCOホームテック株式会社

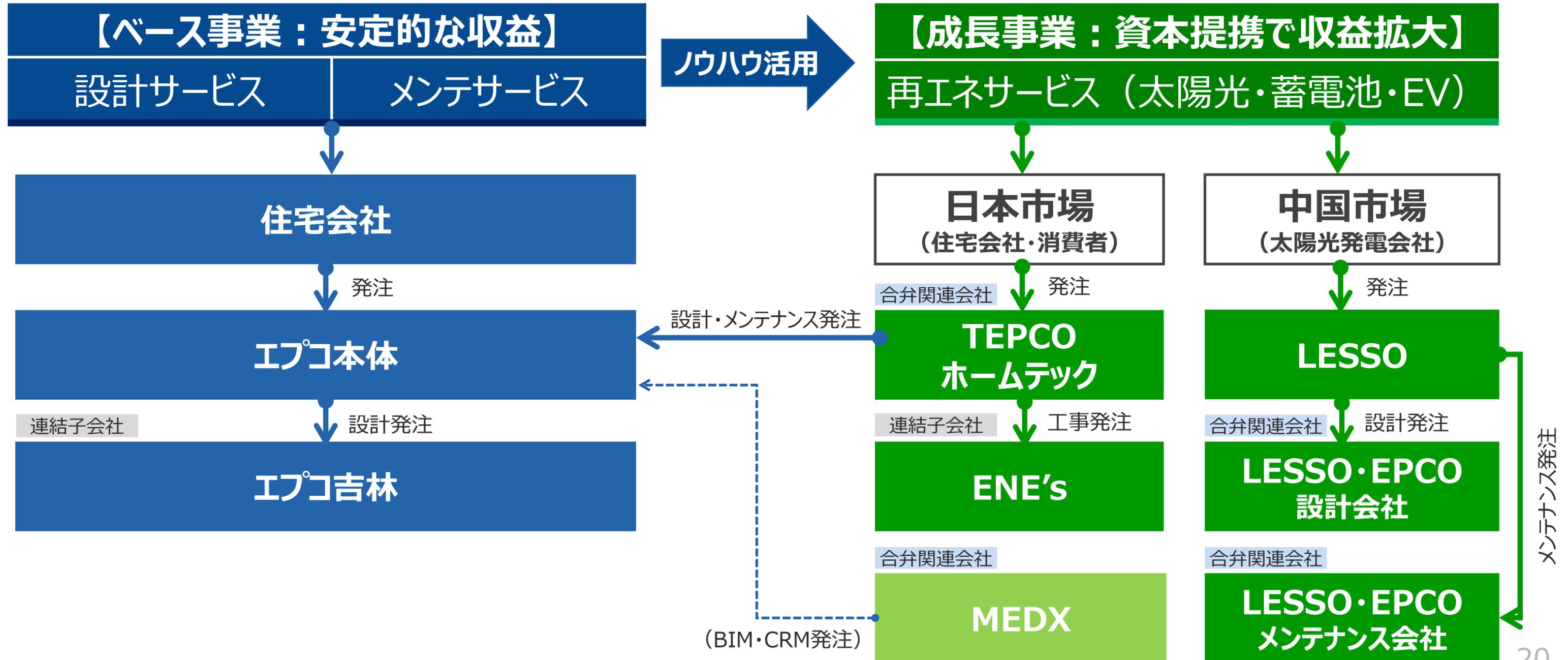


中国

LESSO 联塑



ベース事業で安定収益を稼ぎつつ、成長事業に注力し収益の最大化を目指す。



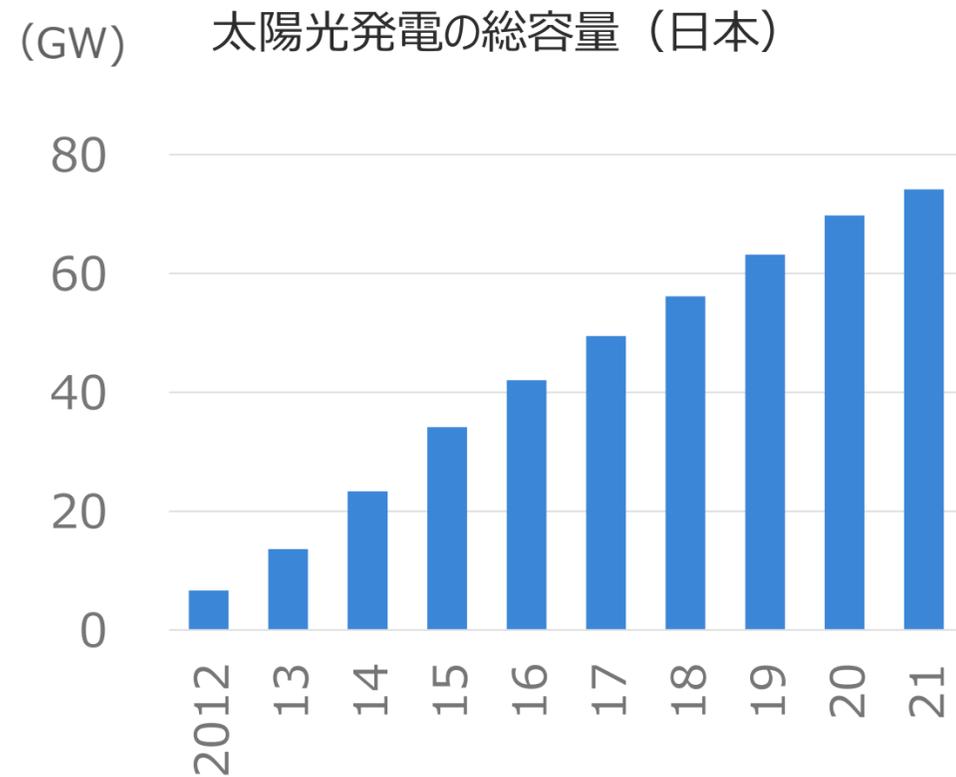
## TEPCOホームテックは、家庭分野のカーボンニュートラルに不可欠な「総合設備企業」を目指す



## 再エネサービスの主たる事業領域は、今後も成長が見込まれる

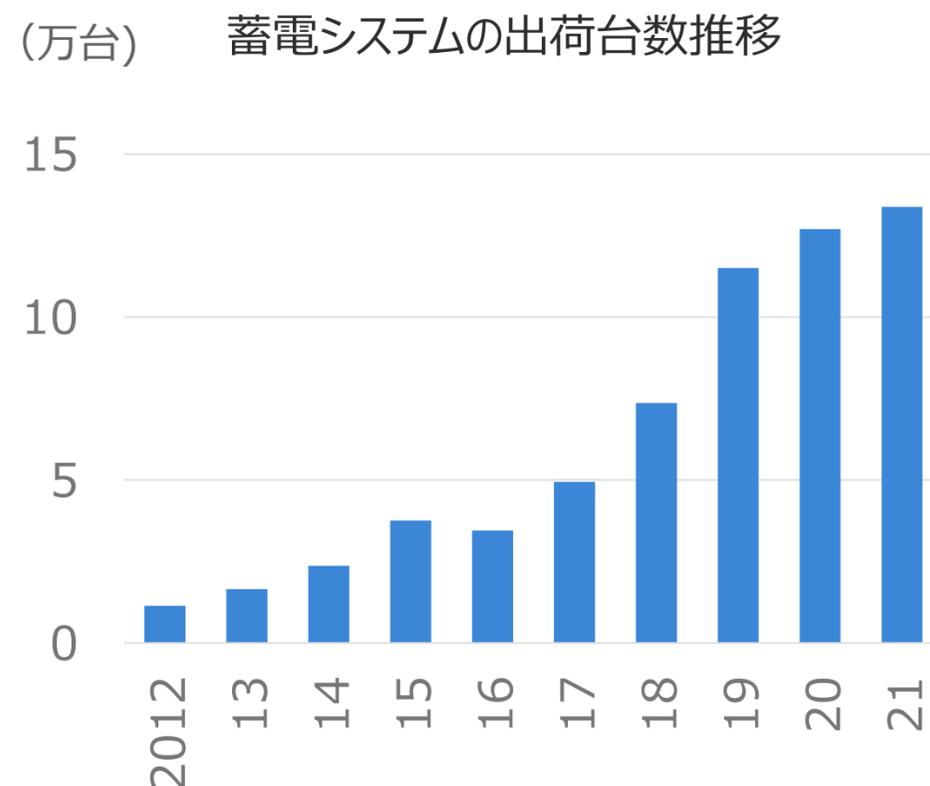
TEPCOホームテックの再エネアセットサービス（エネカリ）の受託が増加。  
太陽光発電、蓄電池、EV等の普及で更なる成長が見込まれます。

### 太陽光発電



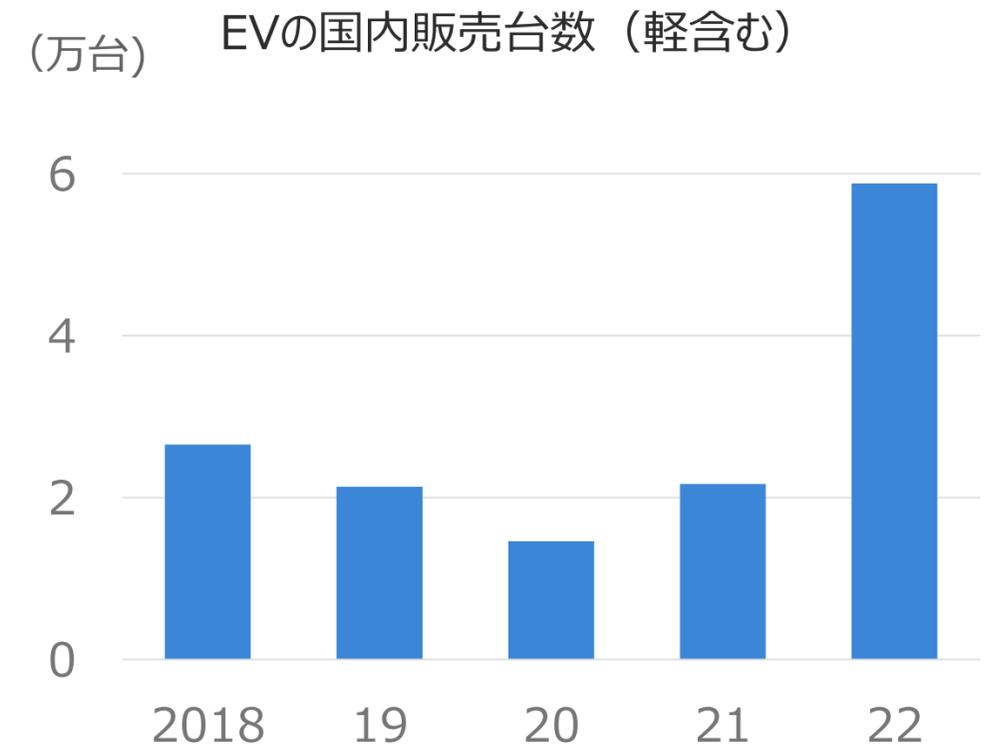
出典：IRENA（国際再生可能エネルギー機関）  
「RENEWABLE CAPACITY STATISTICS 2022」

### 蓄電池



出典：一般社団法人日本電機工業会  
「定置用リチウムイオン蓄電システム自主統計」

### EV



出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、  
全国軽自動車協会連合会公表データより当社作成

## 中国での太陽光発電市場をLESSO & EPCOで開拓

### LESSO 联塑

ブランド・製造技術・販売ネットワークを提供  
再エネ事業を第2のコア事業へ



設計・メンテナンス体制を提供  
中国再エネ事業での運命共同体

太陽光発電所向け  
一気通貫サービス

### LESSO・EPCO合併会社\*

#### LESSO 联塑

製品  
開発

販売

パネル  
製造

物流

工事

IT  
開発

設計

積算

確認  
申請

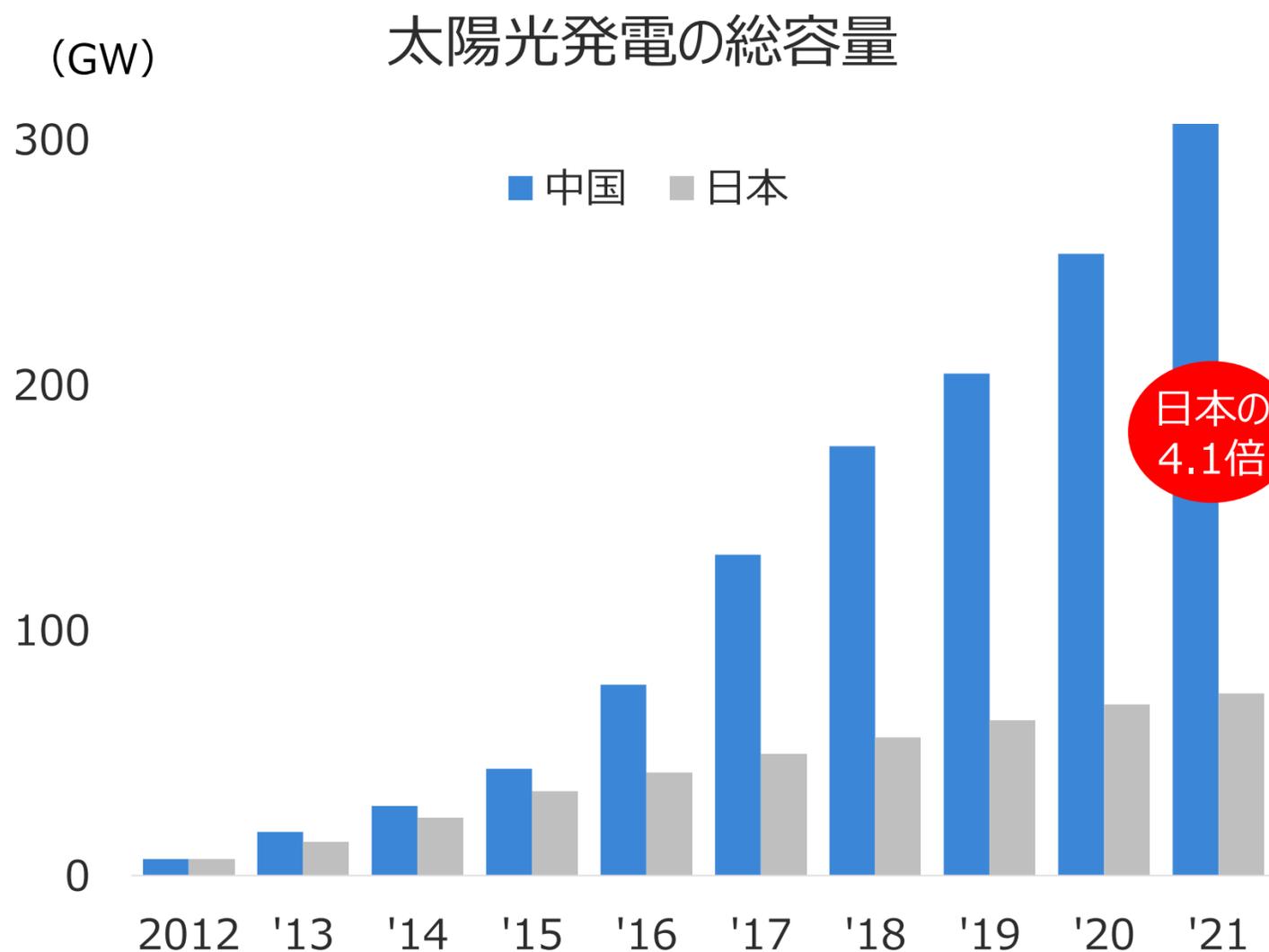
発電  
監視

メンテ  
ナンス

日本での太陽光システム開発と設計ノウハウと活用

\* 新社名：班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司：LESSO50%、EPCO50%

## 世界最大規模である中国の太陽光発電市場での事業展開を目論む



### 中国は太陽光発電設備の導入実績で世界最大

中国の太陽光発電設備の累積容量は世界最大(308.5GW)。世界全体の太陽光発電設備容量の約1/3。  
(参照：IEA「Snapshot 2022」)

### 国策として太陽光発電設備の更なる普及を計画

国家目標「3060目標」に基づき、さらなる普及拡大を計画  
2025年の太陽光発電増加量：150GW/年を予想  
(2020年比で3倍)

### LESSO社 太陽光発電市場へ本格参入

2022年1月、LESSOグループは太陽光発電事業の子会社を設立。  
2023年の太陽光パネル生産能力は7GW/年規模に。

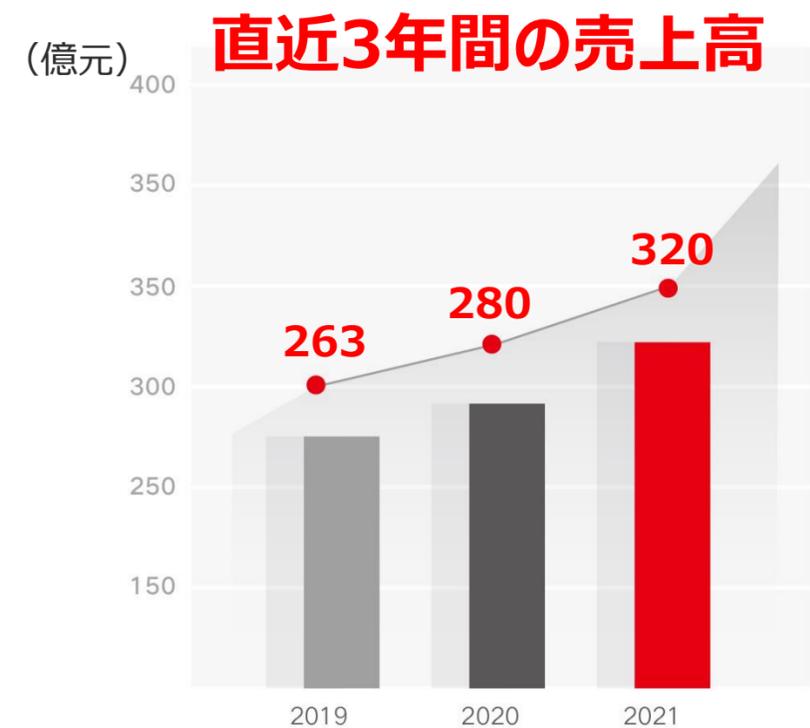
出典：IRENA「RENEWABLE CAPACITY STATISTICS 2022」

# 中期経営方針 | (参考) LESSO Group 概要

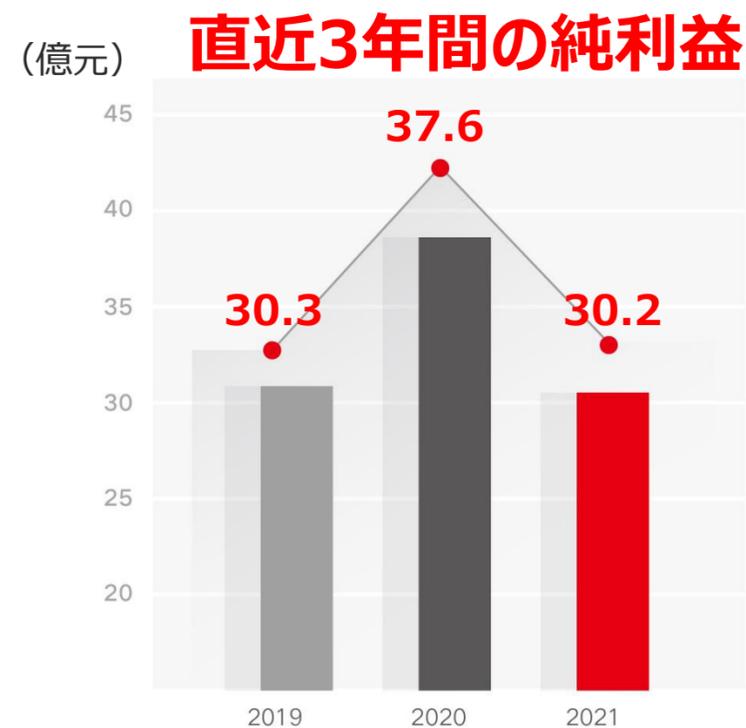
【企業名】 中国聯塑集团控股有限公司 (China Liansu Group Holdings Limited)

【所在地】 中国広東省佛山市

- 【概要】
- ・1986年創業
  - ・中国最大手の樹脂パイプ・継手メーカー：中国500強企業（ランキング375位）
  - ・香港市場上場（証券コード 2128：HK）
  - ・生産工場：中国全土30か所、海外7か所
  - ・販売店網：中国全土で約30,000社



単位：億元

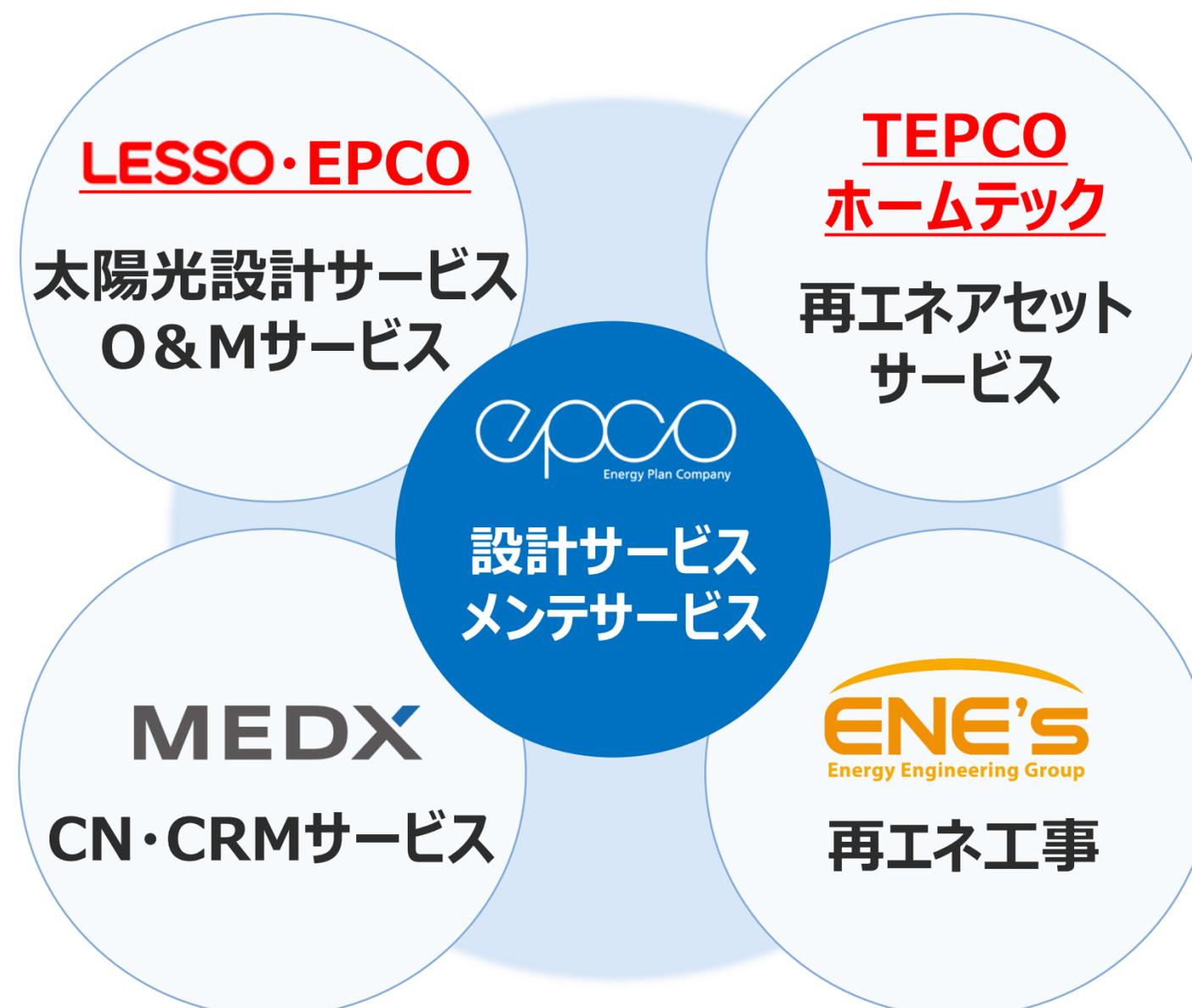


単位：億元

## LESSO本社



当社グループのパーパス「住まい・暮らし・地球環境をデジタル技術で支える」を実現するために、  
エプコはグループ企業と連携し、再エネサービスで成長を図ります。



01. 2023年12月期 第1四半期決算概況

02. 中期経営方針

**03. Appendix.**

**HCDs** HOUSING  
CARBON NEUTRALITY  
DIGITAL SOLUTIONS

## 経営理念

我々は、エプコグループで働く情熱ある社員とその家族の幸福を追及します。  
 エプコグループの存在目的は、社会問題を減らし、国民生活に貢献することです。  
 エプコグループは、世界の人々の住まい、暮らしを支えるインフラ企業を目指します。

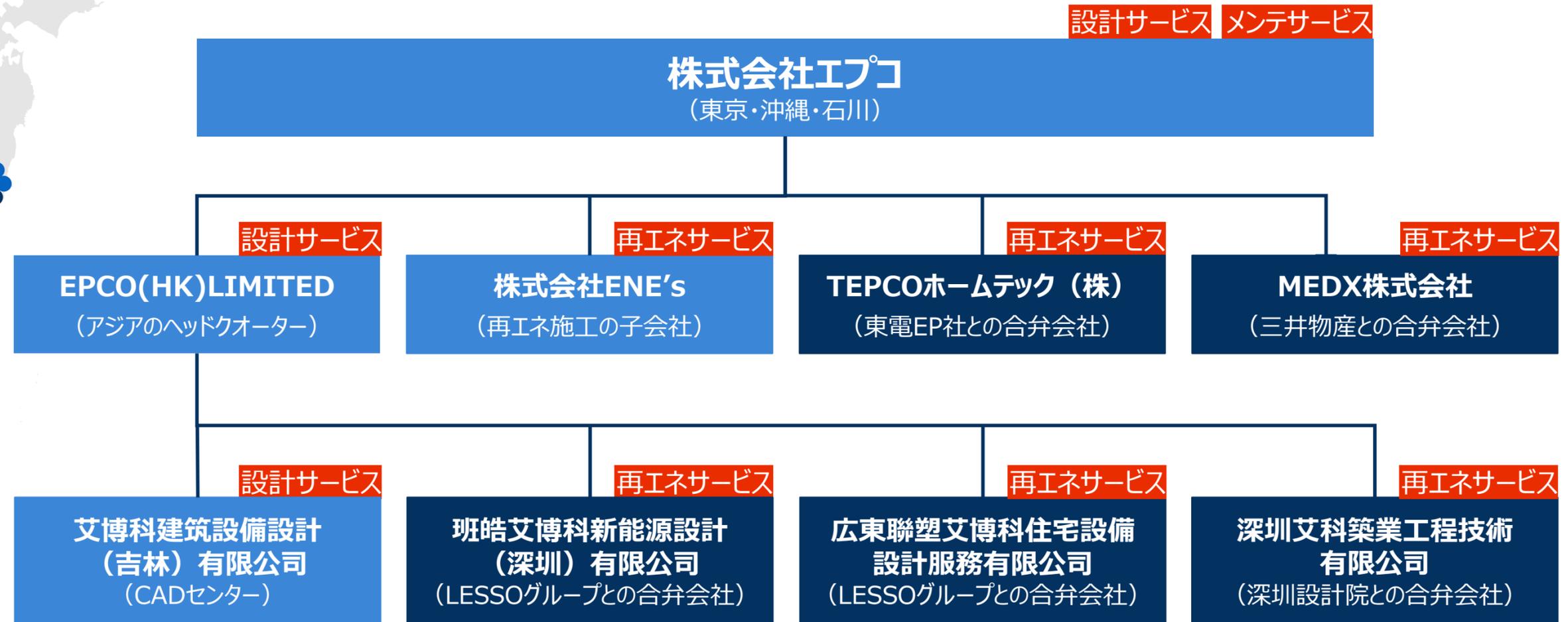
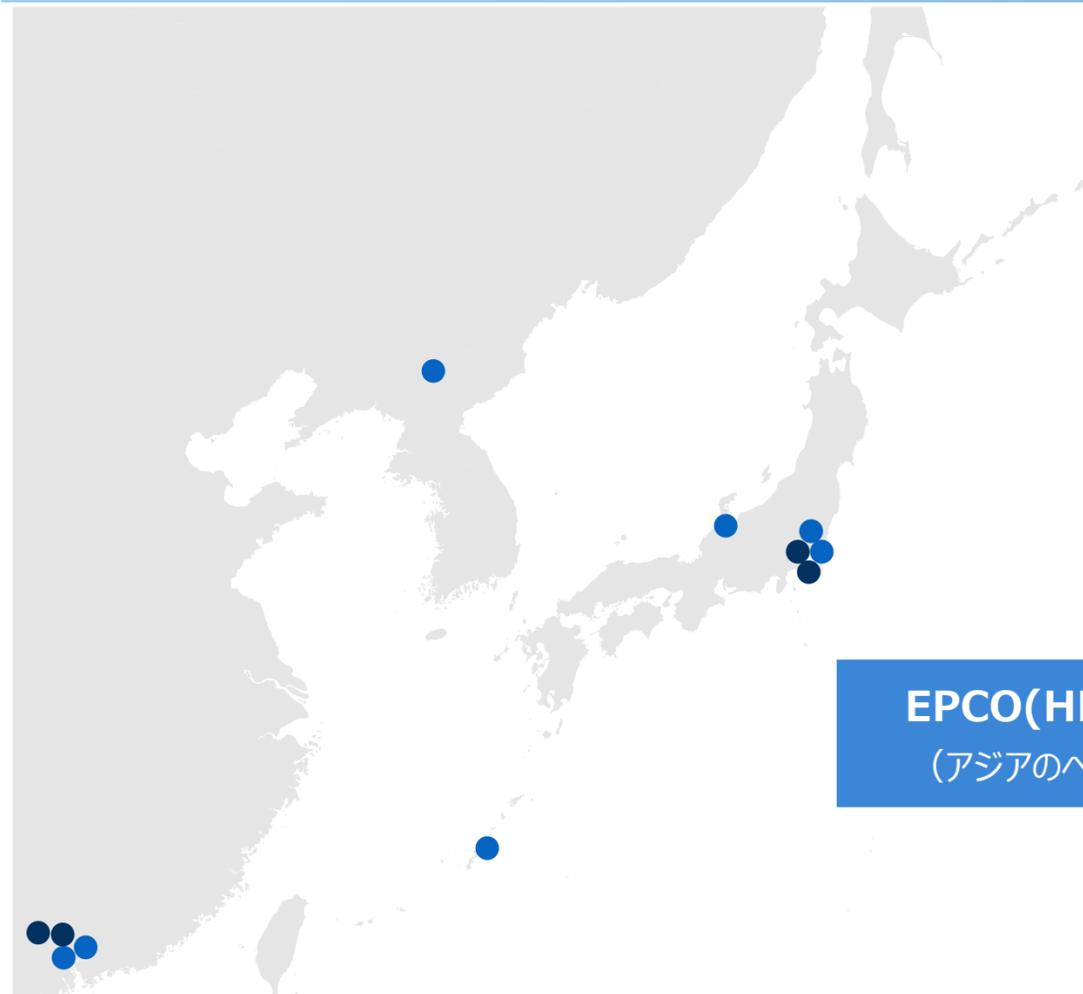


代表取締役グループCEO

岩崎 辰之

会社名	株式会社 エプコ	
本社	〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー 12階	
証券コード	2311 (東証プライム)	
設立	1990年4月12日	
資本金	87百万円	
従業員数	541名 (連結853名) 臨時社員・派遣社員含む ※2022年12月31日時点	
取締役	代表取締役グループCEO 代表取締役CFO 取締役 社外取締役 (監査等委員) 社外取締役 (監査等委員) 社外取締役 (監査等委員)	岩崎 辰之 吉原 信一郎 宮野 宣 渡邊 将志 秋野 卓生 田村 正
執行役員	事業開発管掌 設計サービス及び情報システム管掌 メンテナンスサービス管掌 グループ経営管掌	金 柁 田 楊 超 浦山 貴継 平川 智久

# エプコグループの構成



連結子会社
関連会社

# (参考) | エプコグループの損益構造

エプコグループの特徴は、合弁会社を積極活用したグループ体制（グループ経営）  
 合弁事業に伴う持分法投資損益は、全て「再エネサービス」の経常利益に帰属

エプコ単体 連結子会社（100%） 持分法適用会社	設計サービス	メンテサービス	再エネサービス	
営業利益	エプコ （東京・沖縄） EPCO(HK)LIMITED 艾博科建築設備設計（吉林）	エプコ （東京・沖縄・石川）	— ENE's	
営業外損益 （持分法投資損益）	—	—	合弁会社名 TEPCOホームテック MEDX Banhao EPCO ※1 Lesso EPCO ※2	パートナー企業 東京電力EP(株) 三井物産(株) China Lesso ※3 China Lesso ※3

※1 Banhao EPCO : 班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司

※2 Lesso EPCO : 広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司

※3 China Lesso : 中国聯塑集团控股有限公司

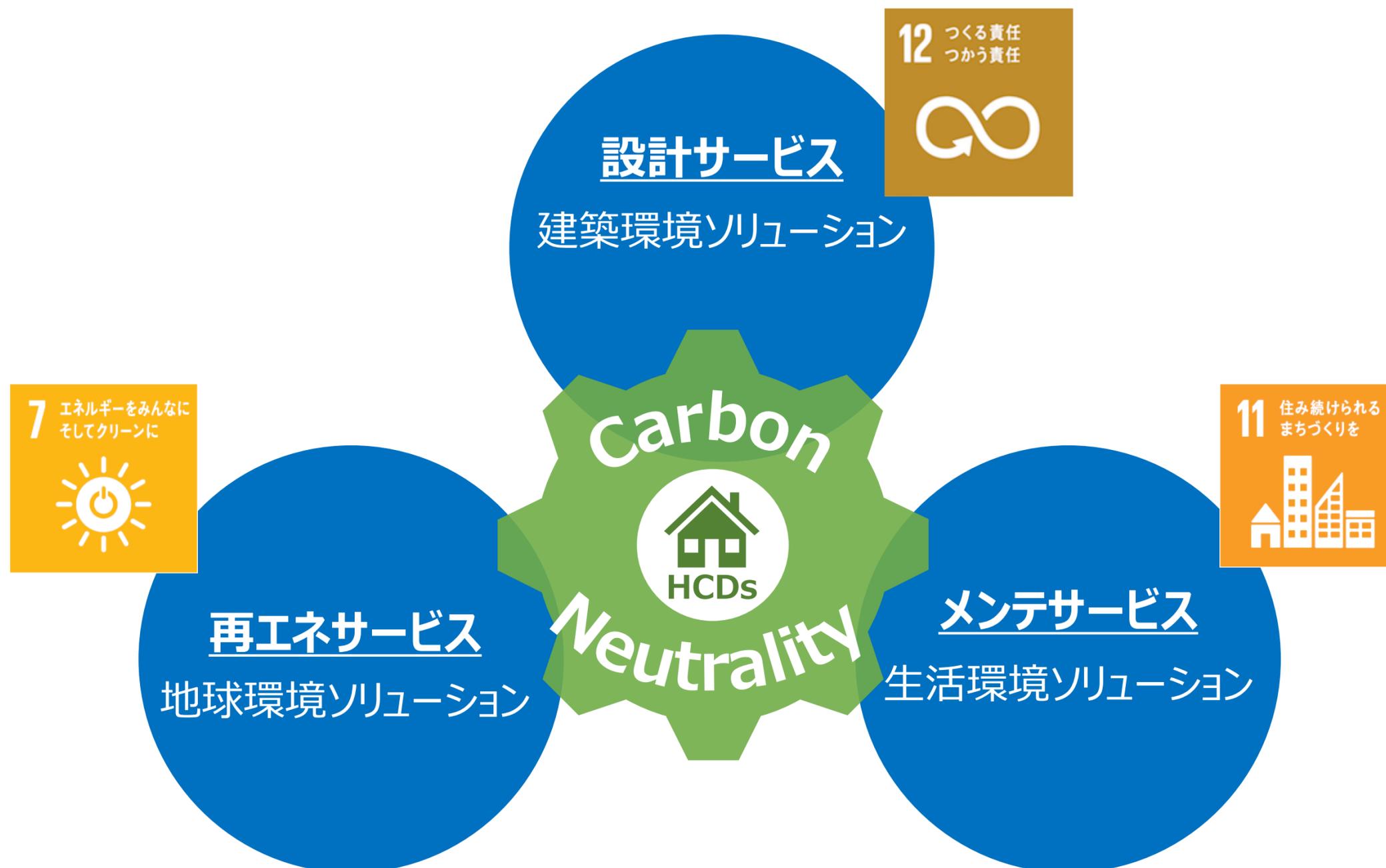
## Challenge to Evolution 脱炭素 × 建築DX

- 2023 ↑ 班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司 設立（CHINA LESSOグループとエプコ深センを合併会社化）
- 2022 ● 金沢オペレーションセンター 設立
- MEDX株式会社 設立
- 2020 ● システムハウスエンジニアリング株式会社（現、株式会社ENE's）を株式取得により子会社化
- 2019 ● 東京証券取引所市場第一部への指定
- 東京証券取引所市場第二部への市場変更
- 2018 ● 沖縄コールセンター移転
- 2017 ● TEPCOホームテック株式会社 設立
- 2016 ● 艾博科建築設備設計（吉林）有限公司 設立
- 2014 ● 東京オフィス移転
- 2011 ● EPCO（HK）LIMITED 設立
- 広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司 設立
- 2005 ● 沖縄事務所開設
- 2004 ● 子会社 艾博科建築設備設計（深圳）有限公司 設立
- 2002 ● 本社事務所を東京都足立区へ移転
- JASDAQ市場へ上場
- 1992 ● 株式会社エプコに改組
- 1990 ● 有限会社エプコ設立

**HCDs** HOUSING  
CARBON NEUTRALITY  
DIGITAL SOLUTIONS

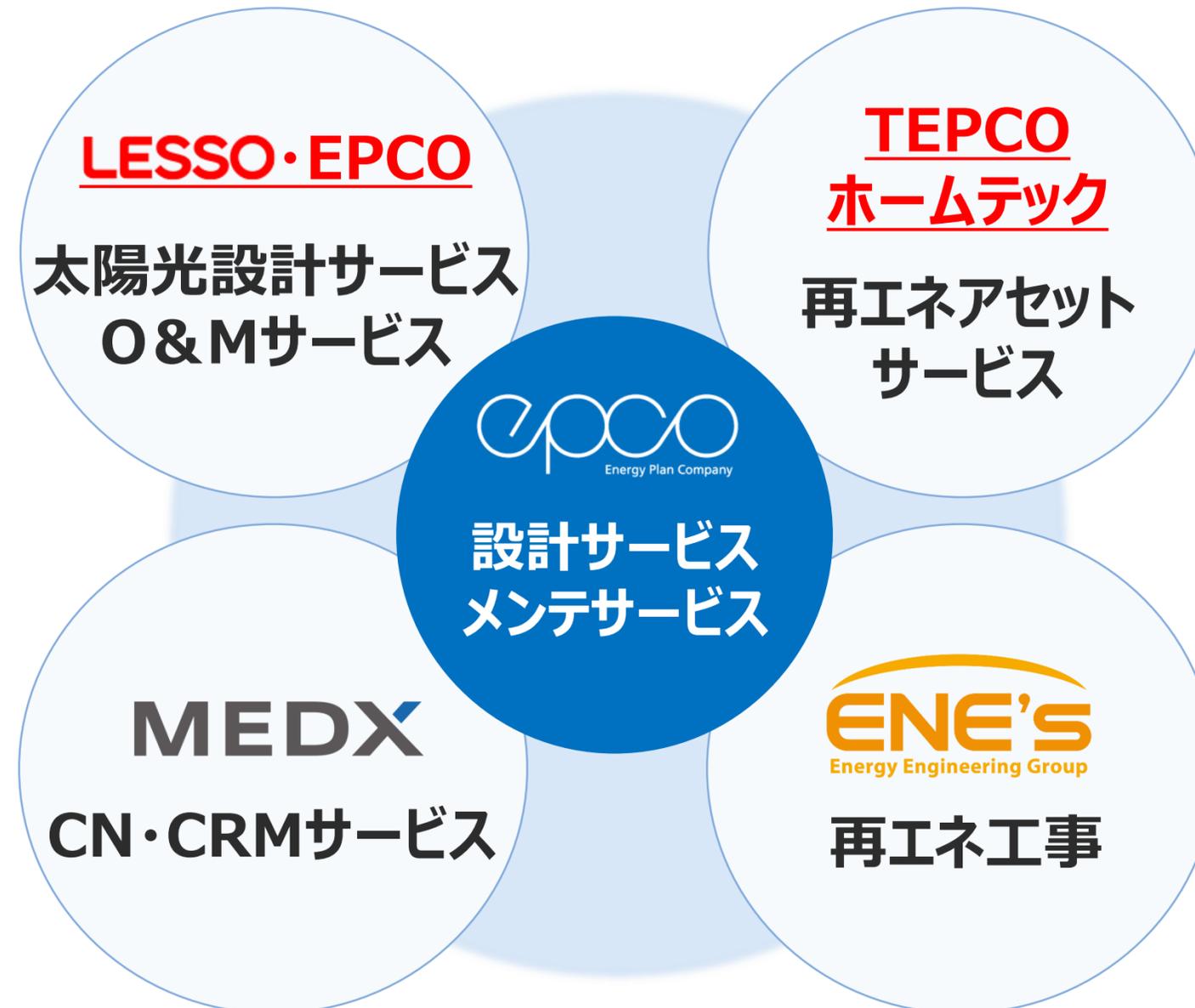
## HCDs : Housing Carbon Neutrality Digital Solutions

エプコグループは住まい・暮らし・地球環境をデジタル技術で支えます。



## グループ経営

エプコはグループ企業と連携し、グループ企業への価値提供で事業成長を目指す。



## 住宅ライフラインを支える3つのコア事業（設計・メンテ・再エネ）が安定した収益基盤



- ・ハウスメーカーのサプライチェーンを支える日本最大級の設計体制（日中合計で460名）
- ・住宅分野の設計実績は年間約100,000戸（新築低層住宅のシェア約14%）

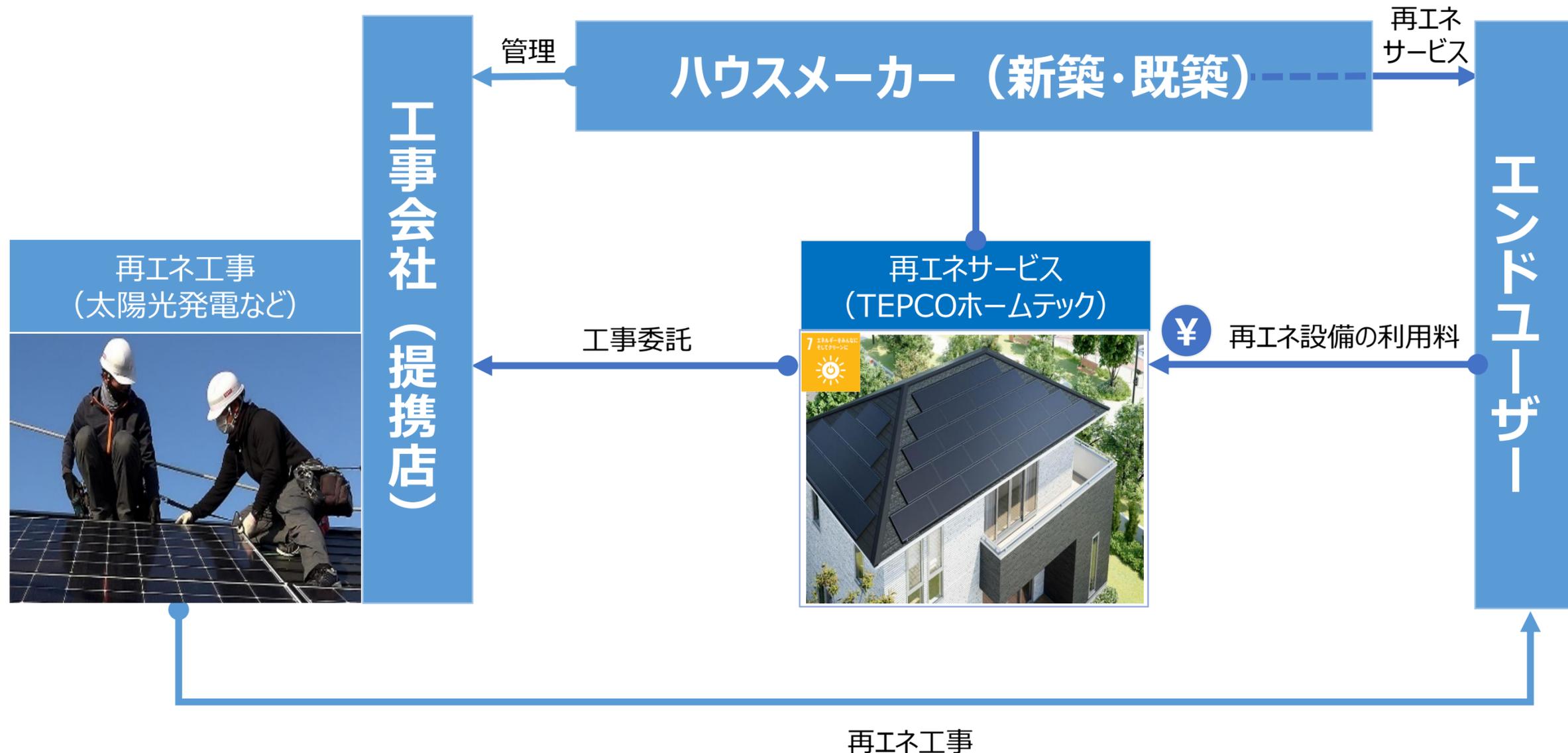


- ・ハウスメーカーのメンテナンスを24時間365日で支えるコールセンター体制（沖縄・金沢で200名）
- ・メンテナンス受付数は年間約600,000件（顧客管理数は全国160万世帯）



メンテナンス工事

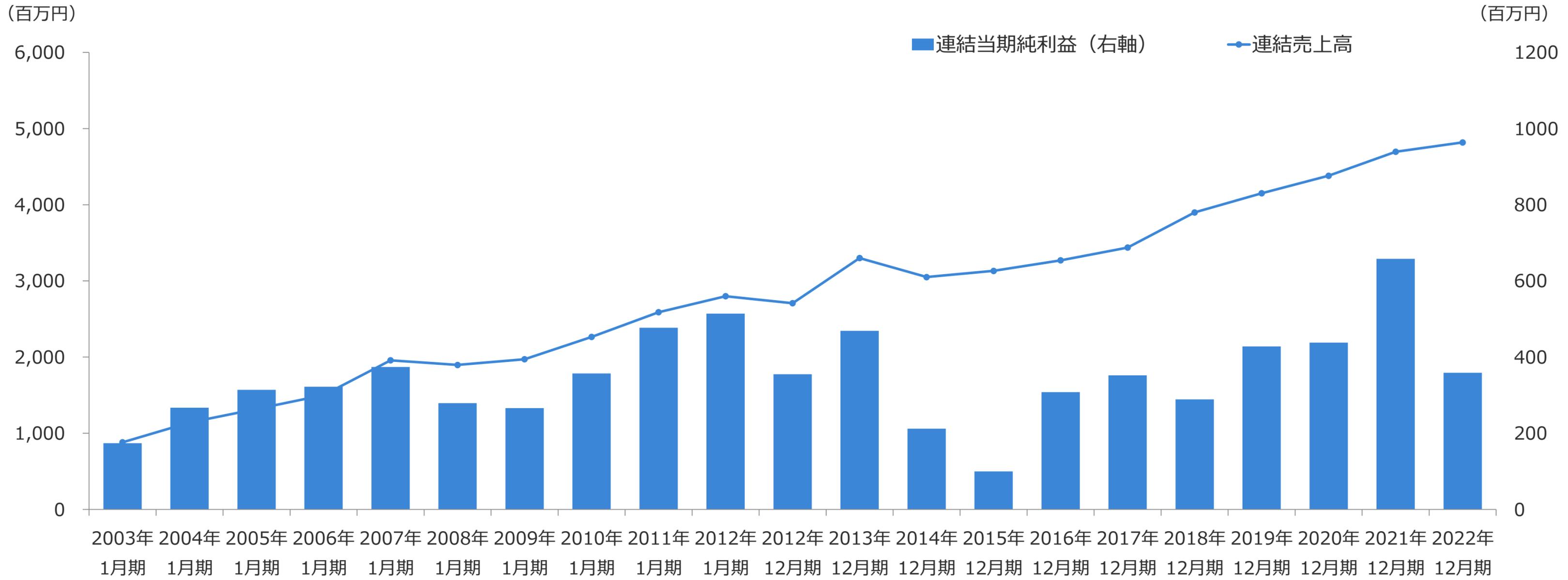
- TEPCOホームテックは東京電力エナジーパートナーとエプコの合併会社
- 再エネ設備のサブスクサービス（初期費用ゼロ円の定額利用）が大手分譲住宅会社で採用拡大中



# エプコグループのESGの取り組み

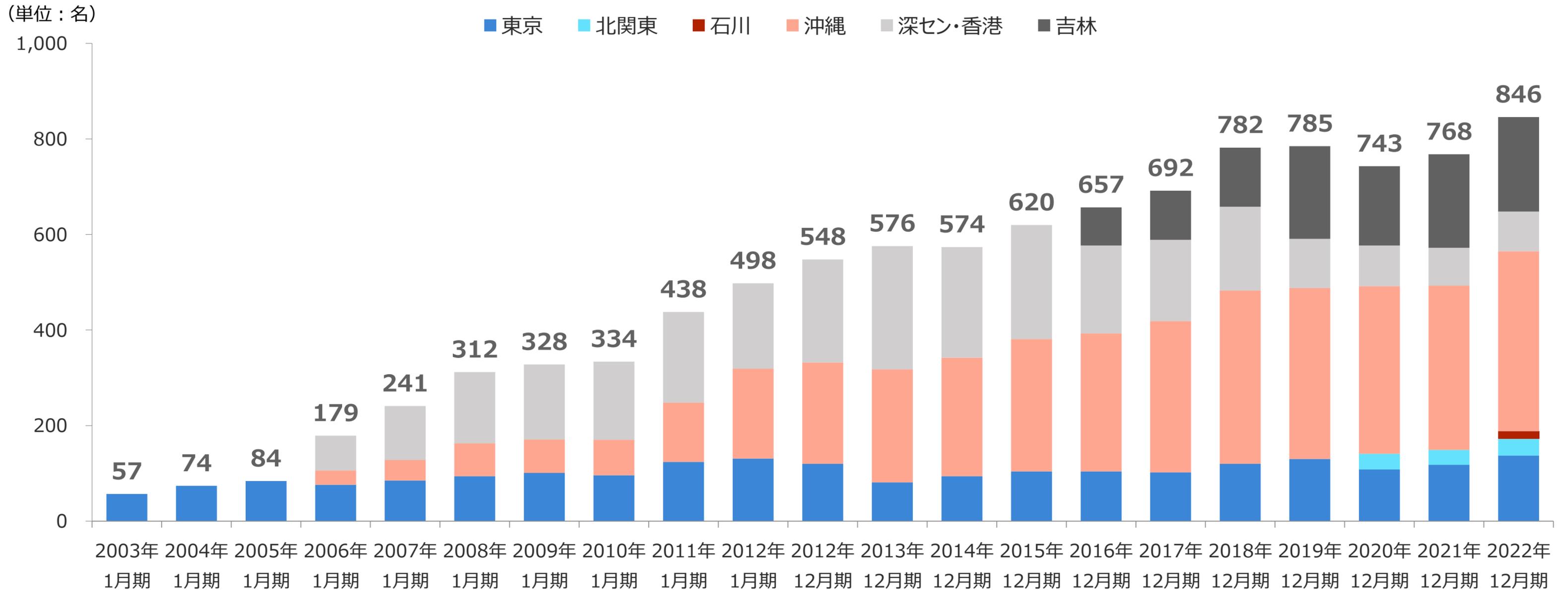
	テーマ	概要	当社の主な取り組み	SDGs
環境 E	事業活動を通じた 環境保全	プレファブ化による産廃削減 BIMによるCO <sub>2</sub> 排出量の見える化	住宅設備の最適設計とプレファブ化により産業廃棄物を削減 BIM設計による建築段階でのCO <sub>2</sub> 排出量の算出	12 つくる責任 つかう責任 
		再エネ機器設置によるCO <sub>2</sub> 削減	太陽光パネルや蓄電池等の再エネ機器設置によるCO <sub>2</sub> の削減 初期費用0円、定額利用サービスによる再エネ機器の普及に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 
	環境負荷低減	IT活用による印刷物の削減	ITを活用した設計図面チェック時のペーパーレス化による印刷物の削減	
社会 S	居住者	居住者との関係	住宅全般における様々なトラブルを24時間365日に対応 効率的なメンテナンス手配による迅速な問題解決	11 住み続けられる まちづくりを 
	お客さま	住宅会社等のお客さまとの関係	低コスト、高品質、短納期の実現による顧客満足度の向上	
	株主さま	株主様との関係	適時かつ適切な情報開示 <a href="https://www.epco.co.jp/ir/">https://www.epco.co.jp/ir/</a> 積極的かつ安定的な株主還元 <a href="https://www.epco.co.jp/ir/highlight.html">https://www.epco.co.jp/ir/highlight.html</a>	
	従業員	ダイバーシティ推進	エプコグループ従業員において、 女性比率46%、外国人従業員比率37%（2021年12月末時点）	
		安全・健康な職場づくり	健康経営の推進（産業医・外部機関との連携による従業員の健康管理）	
ガバナンス G	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制	監査等委員会設置会社であり、社外取締役比率50%（6名中3名） コーポレートガバナンス報告書 <a href="https://ssl4.eir-parts.net/doc/2311/ir_material6/203238/00.pdf">https://ssl4.eir-parts.net/doc/2311/ir_material6/203238/00.pdf</a>	
	コンプライアンス	コンプライアンス体制	エプコグループ行動規範の制定、従業員向けコンプライアンス教育の実施 内部通報制度の制定	
	セキュリティ	情報セキュリティ管理	情報セキュリティマネジメントシステムの構築（ISO27001認証の取得）	
個人情報保護		個人情報保護マネジメントシステムの構築（プライバシーマークの取得）		

# 連結業績推移



エネルギー事業への  
戦略投資期間

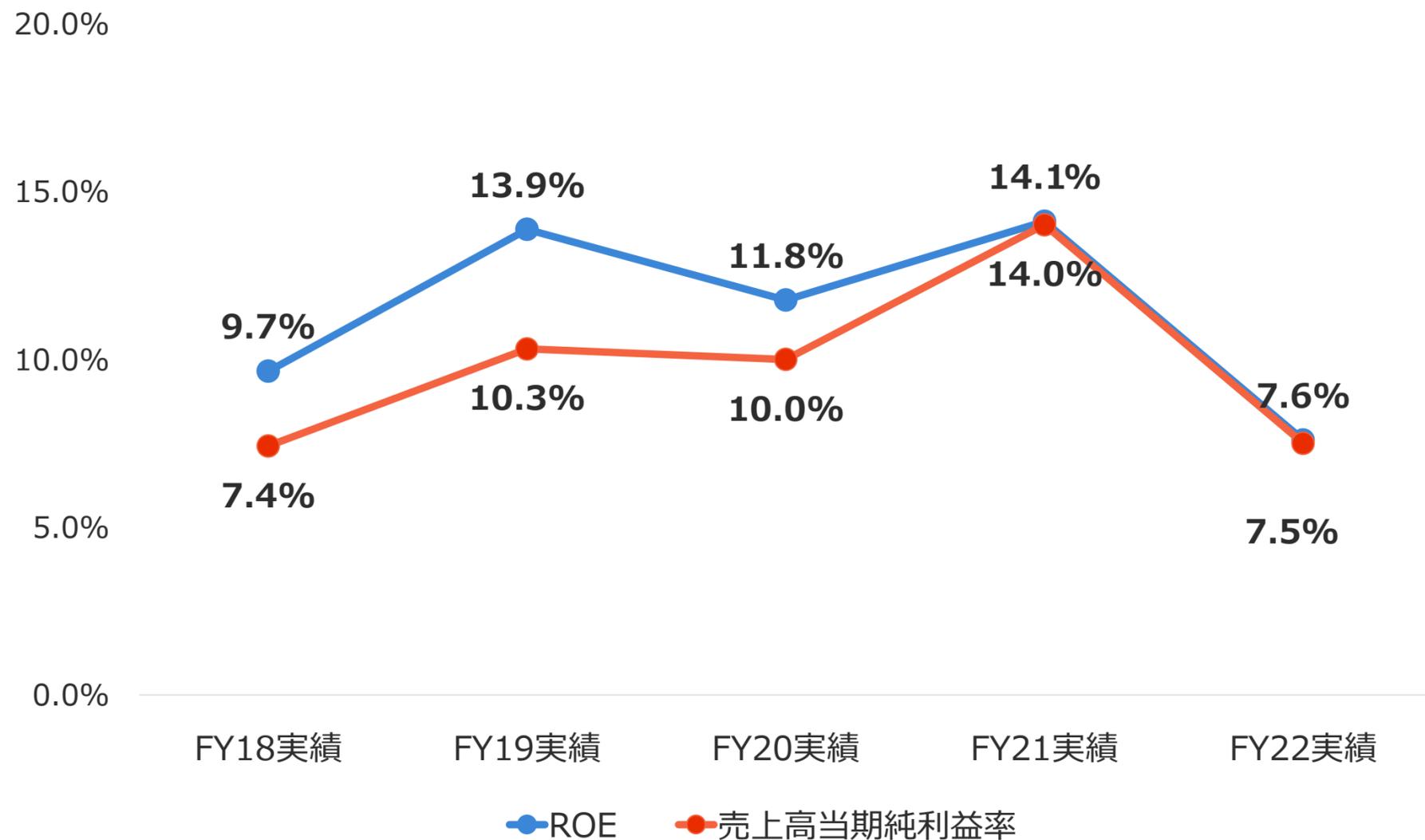
# 連結従業員数 推移



※ 臨時雇用者を含む（臨時雇用者は期中平均従業員数にて集計）

過去5年間のROE（平均）は 11.4% → 利益率向上により、ROEのさらなる向上を目指す

【ROE及び売上高当期純利益率の推移】



## ROEに関する見解

### 【ROEのさらなる向上策】

#### ① 中期経営計画の推進による利益率向上

中期経営計画を推進することで各事業部の売上高営業利益率の向上及び持分法投資利益の増加を実現し、売上高当期純利益率の向上を図る。

#### ② 余剰資産の適切な管理

事業拡大に応じた積極的な株主還元により、総資産回転率及び財務レバレッジの向上を図る。

# IRスケジュール 2023年（予定）



## 2023年

2月13日（月）	2022年12月期 決算発表	6月29日（木）	権利落日
2月27日（月）	2022年12月期 経営計画説明会（本決算）	8月9日（水）	2023年12月期 第二四半期決算発表
3月11日（土）	個人投資家向けオンラインセミナー	8月下旬	2023年12月期 経営計画説明会（第二四半期）
3月24日（金）	第33回定時株主総会	11月8日（水）	2023年12月期 第三四半期決算発表
5月11日（木）	2023年12月期 第一四半期決算発表	12月27日（水）	期末配当 権利取最終売買日
6月28日（水）	第二四半期配当 権利取最終売買日		



IRサイト

<https://www.epco.co.jp/ir/>



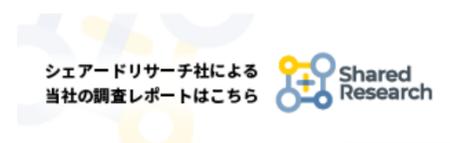
IRメール配信サービス

<https://www.epco.co.jp/ir/mail.html>



ENGLISH (IR)

<https://www.irstreet.com/new/en/brand/index.php?brand=159>



アナリストレポート

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/2311>



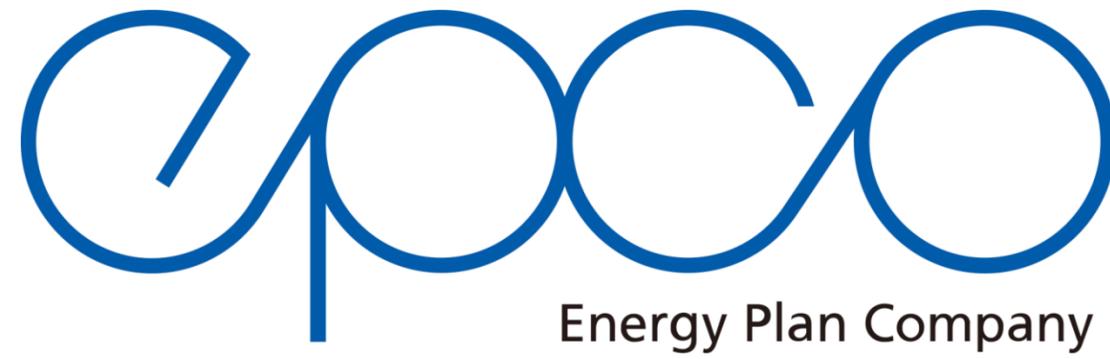
CEOブログ

<https://www.epco.co.jp/aroute/>



お問い合わせ

<https://www.epco.co.jp/contact/contact.php>



**ご注意**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。